

金沢市立病院の患者情報等の持ち出しについて

金沢市立病院の医療情報システム運用保守委託業務を受託している富士通株式会社北陸支社が、当該業務の一部を株式会社インテックに委託しており、そこから派遣されていた社員によって、金沢市立病院の患者情報等が持ち出されたことが判明しました。

インテックの社員は50歳代の男性であり、平成20年9月1日から平成29年4月14日まで金沢市立病院に常駐し、電子カルテの保守管理業務に従事していました。

外部の委託社員により個人情報を持ち出されたことについては、非常に遺憾であります。情報を持ち出されたことについてお詫びしますとともに、情報管理体制を徹底し、再発防止に努めてまいります。

1. 持ち出された情報の内容

1528人の患者と144人の病院職員の氏名・住所・性別など
なお、このインテック社員以外の第三者への情報流出はありません。

2. 持ち出しの方法

電子カルテシステムにより印刷した紙媒体とUSBメモリによる外部媒体

3. 持ち出しの原因

当該業務が個室での1人作業であったこと、メモ用として再利用するため紙を収集する習慣があったことなど

4. 再発防止策

金沢市立病院としては、今回の個人情報外部に持ち出された事実を厳粛に受け止め、二度とこのようなことが起きないように情報管理の徹底を図ります。

具体的には、

- (1) 勤務場所へのカバン等私物の持ち込み、持ち出しルールの厳格化
- (2) 情報を扱う委託職員を病院職員の目が届く場所で従事させるなど、監視体制の強化と情報管理の徹底
- (3) 監視カメラの設置
- (4) 病院職員全員を対象とした情報セキュリティ教育の実施 など

5. 今後の対応について

個人情報を持ち出されてしまった方の調査が終了次第、あらためてお詫びを申し上げます。